

1. 食後に血清中濃度が低下するのはどれか
(a) 総コレステロール
(b) HDL-コレステロール
(c) 中性脂肪
(d) 遊離脂肪酸 (FFA)
(e) 血糖
2. 胃酸分泌を亢進させるのはどれか。2つ選べ。
(a) somatostatin
(b) histamine
(c) incretin
(d) secretin
(e) gastrin
3. ビタミン B12 吸収障害をきたす状態について、正しいものを2つ選べ。
(a) 回腸末端部切除後
(b) 左半結腸切除後
(c) 膵尾部切除後
(d) 胆嚢摘出後
(e) 胃全摘後
4. 唾石症について正しいのはどれか。
(a) X線透過性のものが多い。
(b) 耳下腺に好発する
(c) シェーグレン症候群に合併しやすい。
(d) 舌下腺に好発する。
(e) 摂食時に疼痛が増強する。
5. 咬合の不正を生じる骨折はどこか。
(1) 下顎骨体部骨折
(2) 下顎骨関節突起骨折
(3) 下顎骨筋突起骨折
(4) 頬骨弓骨折
(5) Le Fort I 型骨折

(a) 1、2、3 (b) 1、2、5 (c) 1、4、5 (d) 2、3、4 (e) 3、4、5
6. 顎口腔領域に発生する病変について正しいのはどれか
(1) 歯根嚢胞は炎症や感染とは無関係に発生する
(2) 歯源性嚢胞のうち最も発生頻度の高いのは歯根膿疱である
(3) 角化嚢胞性歯源性腫瘍が多発する場合、基底細胞母斑症候群を疑う必要がある
(4) 含歯性嚢胞は歯根周囲に発生する
(5) 角化嚢胞性歯源性腫瘍は下顎前歯に好発する

(a) 1、2 (b) 1、5 (c) 2、3 (d) 3、4 (e) 4、5

7. 歯性上顎洞炎について誤っているものはどれか

- (a) う歯や歯周炎が原因で生じる
- (b) 上顎洞の X 線不透過性が亢進する
- (c) 片側の上顎洞に発症することが多い
- (d) 歯科用インプラントが原因で起こることがある
- (e) 上顎前歯が原因歯となることが多い。

8. 口腔癌について正しいのはどれか

- (1) 性別では女性に多い
- (2) 発現年齢では若年者に多い
- (3) 組織型では扁平上皮癌が多い
- (4) 遠隔転移では肺が多い
- (5) 部位別では口唇に多い

(a) 1、2 (b) 1、5 (c) 2、3 (d) 3、4 (e) 4、5

9. 顎骨内に発生しない嚢胞性病変はどれか

- (1) 原始性嚢胞
- (2) 歯根嚢胞
- (3) 側頸嚢胞
- (4) 甲状舌管嚢胞
- (5) 角化嚢胞性歯原性腫瘍

(a) 1、2 (b) 1、5 (c) 2、3 (d) 3、4 (e) 4、5

10. 関係のある組み合わせはどれか

- (1) 白板症 — 前癌病変
- (2) 扁平苔癬 — 帯状疱疹ウイルス
- (3) Koplik 班 — ヘルペスウイルス
- (4) Fordyce 顆粒 — 異所性皮脂腺
- (5) 黒毛舌 — 長期抗菌薬使用

(a) 1、2、3 (b) 1、2、5 (c) 1、4、5 (d) 2、3、4 (e) 3、4、5

11. 眼窩吹き抜け骨折の症状はどれか

- (1) 開口障害
- (2) 縮瞳
- (3) 眼球運動障害
- (4) 複視
- (5) 流涎

(a) 1、2 (b) 1、5 (c) 2、3 (d) 3、4 (e) 4、5

12. 唾液腺について正しいのはどれか

- (1) 耳下腺は純漿液腺である
- (2) 舌下腺は漿液腺と粘液腺からなる混合腺である。
- (3) がま腫では舌下腺摘出術を行う
- (4) 木村病では IgG4 が高値を示す
- (5) 耳下腺の主管はワルトン氏管である

(a) 1、2、3 (b) 1、2、5 (c) 1、4、5 (d) 2、3、4 (e) 3、4、5

13. ヒト乳頭腫ウイルス (HPV) によっておこる頭頸部癌の特徴について正しいのはどれか

- (1) 上咽頭癌では HPV16 と HPV18 が関与する
- (2) HPV 陽性中咽頭癌では HPV 陰性症例より遺伝子異常が多い
- (3) 中咽頭癌では HPV16 が関与する
- (4) 早期にリンパ節転移をきたす
- (5) 喫煙者、飲酒者が多い

(a) 1、2 (b) 1、5 (c) 2、3 (d) 3、4 (e) 4、5

14. 次の文章のうち正しいものはどれか。2つ選べ。

- (a) 腸重積の代表的な画像所見では、target sign や pseudokidney sign がある
- (b) 中腸回転異常では 270° 回転型が最も頻度が高い
- (c) 小児の腸重積が生じやすい部位は横行結腸である
- (d) Hirschsprung 病は壁内神経節細胞の欠如が原因で、腹部膨満や腸閉塞をきたす
- (e) 腸重積は学童期に多い

15. 次の文章のうち誤っているのはどれか。2つ選べ。

- (a) 大腿ヘルニアは嵌頓を起こしにくい
- (b) 急性虫垂炎の病期として、カタル期、蜂窩織期、壊疽期がある
- (c) 外鼠径ヘルニアは小児に多い
- (d) Meckel 憩室では、 $^{99m}\text{TcO}_4^-$ を用いたシンチが行われる
- (e) Closed loop が形成されている腸閉塞は保存的に経過観察できることが多い

16. 次の文章のうち正しいものはどれか

- (a) 非閉塞性腸管虚血 (NOMI) の予後は比較的良好である
- (b) Crohn 病と潰瘍性大腸炎を比較すると、潰瘍性大腸炎の方が穿孔を生じやすい
- (c) 成人の腸重積の原因としては、腫瘍性病変が多い
- (d) 急性憩室炎では外科的治療が選択されることが多い
- (e) 閉鎖孔ヘルニアは内ヘルニアに分類される

17. 注腸造影で見られる一般的な大腸の解剖学的特徴について正しいものはどれか

- (a) 下行結腸は上行結腸より径が太い
- (b) 下行結腸では上行結腸に比して結腸膨起が目立つ
- (c) S 状結腸は固定された腸管で可動性に乏しい
- (d) 上部直腸と下部直腸の境界は経験的に中直腸襞に一致するとされている
- (e) 盲腸と上行結腸は回盲弁の下唇レベルで境界される

18. 大腸 CT について正しいものはどれか。2 つ選べ。
- (a) 前処置を必要としない
 - (b) 腸管洗浄液を拡張に用いる
 - (c) 平坦病変の検出に有用である
 - (d) 16 列以下の多列検出型 CT 装置が検査に適している
 - (e) 標識剤としてバリウムを用いることがある
19. 食道癌の放射線治療について正しいものはどれか
- (a) 日本では 60Gy/30 回の照射が行われることが多い
 - (b) 欧米では 80Gy/40 回の照射が一般的である
 - (c) 日本では扁平上皮癌と腺癌の割合はほぼ同じである
 - (d) アルファベットの J の字に似た照射がよく行われる
 - (e) 飲酒は食道癌の発生リスクにならない
20. 直腸癌の放射線治療について正しいものはどれか
- (a) 直腸癌は基本的に全例が放射線治療の適応である
 - (b) 術後再発での疼痛緩和に効果が期待できる
 - (c) 術前照射は行ってはいけない
 - (d) 全結腸照射が行われている
 - (e) 日本では直腸癌より肛門癌の方が頻度が高い
21. 食道表在癌の治療法の選択で正しい組み合わせはどれか
- (1) m1 癌は EMR (内視鏡的粘膜切除術) の適応である
 - (2) m2 癌には脈管侵襲が認められるため、根治手術の適応となる
 - (3) sm 癌は早期癌のためリンパ節郭清は不要である
 - (4) sm2・sm3 癌ではリンパ節転移の頻度が高いため、根治手術の適応となる
- (a) 1、2 (b) 1、3 (c) 1、4 (d) 2、3 (e) 3、4
22. 食道癌について正しいのはどれか
- (1) 好発部位は胸部中部食道である
 - (2) 頭頸部癌との合併率が高い
 - (3) Barrett 食道癌の頻度が高い
 - (4) 内視鏡的メチレンブルー法は診断に有用である
 - (5) 粘膜癌は内視鏡的粘膜下層剥離術の適応になることが多い
- (a) 1、2、3 (b) 1、2、5 (c) 1、4、5 (d) 2、3、4 (e) 3、4、5
23. 胃 GIST について誤っているものはどれか
- (a) 2cm 以下で症状がなければ経過観察で良い
 - (b) 腫瘍細胞は CD34・c-kit 陽性である
 - (c) Cajal 介在細胞由来の腫瘍である
 - (d) 転移形式はリンパ節転移がほとんどである
 - (e) 抗癌剤の効果が期待できる

24. 胃癌の術後合併症について正しいものはどれか

- (a) 早期ダンピングの症状は血糖値の急速な変動に起因するものが多い
- (b) 晩期ダンピング症候群は 30 分以内に生じる
- (c) 逆流性食道炎に対しては、逆流防止のために再手術が第一選択である
- (d) 鉄欠乏性貧血は胃全摘術では起こらない
- (e) 巨赤芽球性貧血は Castle 内因子の欠乏による

25. 胃癌に対する幽門側胃切除術で通常分離される血管はどれか

- (1) 腹腔動脈
- (2) 総肝動脈
- (3) 左胃動脈
- (4) 右胃大網動脈
- (5) 左胃大網動脈

- (a) 1、2、3 (b) 1、2、5 (c) 1、4、5 (d) 2、3、4 (e) 3、4、5

26. 本邦における胃癌術後補助化学療法について正しい組み合わせはどれか

- (1) pStage II、III に対して行う
- (2) レジメンは TS-1 単剤のみである
- (3) 期間は一年間である
- (4) 局所再発防止のため、放射線照射も追加する
- (5) 分子標的薬は原則使用しない

- (a) 1、2 (b) 1、5 (c) 2、3 (d) 3、4 (e) 4、5

27. 結腸癌について正しいものはどれか

- (1) 潰瘍浸潤型が多い
- (2) S 状結腸癌の頻度が最も多い
- (3) 右側血癌はイレウスをきたしにくい
- (4) 血行性転移臓器は肝臓が最も多い
- (5) 結腸癌の再発形式は、肝転移より腹膜播種の方が多い

- (a) 1、2、3 (b) 1、2、5 (c) 1、4、5 (d) 2、3、4 (e) 3、4、5

28. 45 歳、男性。直腸後壁、歯状線口側 3cm に下縁を有する病変 (20×20mm) を認め経肛門的に局所切除を施行した。今後の治療として適切なものを選べ

- (1) m 癌で断端陰性だったので、経過観察を行う
- (2) sm 癌 (軽微な浸潤 sm1) であったので、経過観察を行う
- (3) sm 癌 (中程度浸潤 sm2) であったので、自律神経温存直腸切除術を行う
- (4) sm 癌 (高度浸潤 sm3) だったので。閉鎖リンパ節郭清を伴う直腸切除術を行う
- (5) sm 癌 (中程度以上の浸潤 sm2~3) で断端陽性であったので、局所的に再切除を行う

- (a) 1、2、3 (b) 1、2、5 (c) 1、4、5 (d) 2、3、4 (e) 3、4、5

29. 腸管感染症について、正しいものはどれか

- (1) 免疫抑制状態では、サイトメガロ腸炎が発症する可能性がある
- (2) 偽膜性腸炎の薬物治療の第一選択はバンコマイシン経口投与である
- (3) アメーバ赤痢の確定診断には便培養検査が必須である
- (4) 回盲部の腸結核は稀である
- (5) 腸管スピロヘータ症は重症化した後に発見される場合が多い

(a) 1、2 (b) 1、2、5 (c) 2、3 (d) 3、4 (e) 4、5

30. A型胃炎について、正しいものはどれか

- (1) 大球性貧血を合併することがある
- (2) カルチノイドが多発することがある
- (3) H.pylori 感染がある場合は発症しない
- (4) 主細胞が主に障害されて起こる
- (5) 病変は前庭部 (antrum) 中心の分布となる

(a) 1、2 (b) 1、5 (c) 2、3 (d) 3、4 (e) 4、5

31. 大腸疾患の分類法、病因、及び組織像について、正しいものはどれか

- (1) Duke's 分類は大腸癌の肉眼形態の分類である
- (2) 家族性大腸腺腫症は K-ras 遺伝子の germline mutation が原因とされる
- (3) クローン病は乾酪壊死を伴う類上皮肉芽腫が特徴的である
- (4) 潰瘍性大腸炎の活動期には陰窩膿瘍が見られることが多い
- (5) Goligher 分類は痔核の病期分類である

(a) 1、2 (b) 1、5 (c) 2、3 (d) 3、4 (e) 4、5

32. 胃、及び十二指腸疾患の病因、組織像について正しいものはどれか

- (1) MALT リンパ腫は H.pylori 感染と関係がある
- (2) Gastrointestinal stromal tumor (GIST) の約 90% は免疫染色で c-KIT 陽性である
- (3) セリアック病は *Tropheryma whipplei* の感染が原因とされる
- (4) 胃生検材で adenoma は Group 4 に分類される
- (5) Borrmann 分類は癌の壁深達度、リンパ節転移で判定する

(a) 1、2 (b) 1、5 (c) 2、3 (d) 3、4 (e) 4、5

33. 胃癌に関連して正しい組み合わせはどれか

- (1) Stage IV 手術不能進行再発胃癌に対して化学療法を施行すると生存期間中央値は 3 年程度である
- (2) 大きさ 30mm の IIc 印鑑細胞癌深達度 M 癌は ESD の適応拡大病変である
- (3) 胃癌の左鎖骨上窩リンパ節転移を Schnitzler 転移という
- (4) 大きさ 20mm の IIc 分化型腺癌深達度 M 癌は ESD の絶対適応病変である
- (5) 早期胃癌とは、癌腫が粘膜下層までにとどまるものであり、かつリンパ節転移を認めないものである

34. 胃疾患に関する次の記述のうち誤っているものはどれか

- (1) *H.pylori* 感染は胃癌発がんのリスクである
- (2) 手術可能な Gastrointestinal Stromal Tumor (GIST) の治療として、メシル酸イマチニブが有用である
- (3) 胃 MALT の治療として *H.pylori* の除菌治療が有効である
- (4) A 型胃炎に伴うカルチノイドの標準治療は胃全摘術である
- (5) 胃癌の左鎖骨上窩リンパ節転移を Virchow 転移という

35. 食道疾患に関する次の記述のうち正しいものはどれか

- (1) 食道異物は第 2 狭窄部に最も多くみられる
- (2) 胸部中部食道 (Mt) は漿膜に覆われている
- (3) 食道アカラシアの分類として Los Angeles 分類がある
- (4) 早期食道癌は、原発巣の壁深達度が粘膜内にとどまり、リンパ節転移の有無は問わない
- (5) 食道扁平上皮癌では、ルゴール染色を用いた色素内視鏡検査にて付箋として観察され、病巣の拾い出しと境界の識別に有用である

- (a) 1、2 (b) 1、5 (c) 2、3 (d) 3、4 (e) 4、5

36. 小腸腫瘍について誤っているのはどれか

- (a) 小腸癌は空腸に好発する
- (b) カルチノイドは空腸に好発する
- (c) 悪性リンパ腫は回腸に好発する
- (d) Peutz-Jeghers ポリープは過誤腫である
- (e) 平滑筋肉腫は空腸に好発する

37. 潰瘍性大腸炎より Crohn 病に多い合併症はどれか

- (1) 粘血便
- (2) 肛門病変
- (3) 腸管膀胱瘻
- (4) 腸管狭窄
- (5) 中毒性巨大結腸症

- (a) 1、2、3 (b) 1、2、5 (c) 1、4、5 (d) 2、3、4 (e) 3、4、5

38. 大腸癌について正しいのはどれか

- (1) 臨床病期Ⅳ期の 5 年生存率は胃癌より良好である
- (2) 低分化型腺癌が多い
- (3) 潰瘍浸潤型が多い
- (4) 早期癌ではリンパ節転移はない
- (5) 遠隔臓器への転移では肝転移が多い

- (a) 1、2、3 (b) 1、2、5 (c) 1、4、5 (d) 2、3、4 (e) 3、4、5

39. 次のうちで誤っているものはどれか

- (a) 胃びらんとは、組織欠損が粘膜層のみの状態のことをさす
- (b) 10mm 以上の胃底腺ポリープは癌化を考慮して内視鏡適切除を行う
- (c) 機能性ディスペプシアでは各種検査にて明らかな器質的異常を認めない
- (d) 胃アニサキス症に対しては虫体の内視鏡的摘出が有効である
- (e) 胃・十二指腸潰瘍の原因の 1 つに、NASIDs (非ステロイド性抗炎症薬) の服用がある

40. H.pylori について正しいものはどれか

- (a) Strickland-Mackay 分類の A 型胃炎は、H.pylori 感染と関連が深い
- (b) H.pylori 陽性の慢性胃炎（萎縮性胃炎）患者は胃癌発生の低危険群である
- (c) 胃 MALT リンパ腫は H.pylori 除菌療法の保険適応である
- (d) 幼児期に自然感染した H.pylori は、ほとんど自然排除される
- (e) H.pylori 除菌治療後に再感染をきたすことはない